

2050年までにカーボンニュートラル をめざすことを宣言!!



出典 PIXTA

地球を曲豆かに 地球温暖化とエネルギー 新聞

地球温暖化とは

地球の平均気温が上がり、ていくことをいう。
原因は石油、石炭など化石燃料の燃焼による二酸化炭素などの温室効果ガスが大気中に増えすぎたためである。

今の日本の現状は?

今、大きな影響を受けている。日本は、平均気温が長期的に上がり、夏は暑くなる。夜(熱帯夜)の増加また大雨や強い台風が予測される。これはエネルギー資源の枯渇が原因である。

カーボンニュートラルとは?

カーボンニュートラルは、温室効果ガスを削減したことで排出量と吸収量をほぼ同じにすることで、排出量をゼロにする。現実的には難しいが、吸収量を全体でゼロにするという目標だ。



カーボンニュートラル達成のためには、個人でできることを続ける必要がある。

行田市立忍野小学校
6年 中野陽葵
2025年
10月23日 発行

日本のエネルギー 自給率(2020年度)



おもな輸入先
アメリカ、オーストラリア、カナダ、マレーシア、ロシア、インドネシアなど

ウラン

ウランは原子力発電の燃料として使われる。放射性物質なので、取り扱いには非常に注意が必要。

石炭

石炭は火力発電の燃料として使われる。二酸化炭素の排出量が多い。

天然ガス(LNG)

天然ガスは火力発電の燃料として使われる。LNGは液化天然ガスで、輸送が容易。

LPGガス

LPGガスは家庭用ガスとして使われる。自動車や工場の燃料としても使われる。

石油

石油はガソリンや軽油の原料として使われる。二酸化炭素の排出量が多い。

エネルギー資源の持ちよう

エネルギー資源は、石油、石炭、天然ガス、ウラン、風力、太陽光などがある。それぞれの特徴や利点がある。

エネルギー資源、てなに?

地球温暖化とエネルギーの関係
地球温暖化の原因は、化石燃料の燃焼による二酸化炭素の排出。エネルギーの使いすぎが問題。

カーボンニュートラルを達成するためには、エネルギーの効率化と再生可能エネルギーの活用が必要。

個人でできること
・節電する
・野菜を育てて食べる
・食料のロス減らす
・リデュース、リユース、リサイクル
・電気自動車を使う

取り組む
・省エネ家電の導入
・再生可能エネルギーの活用
・エネルギー効率の向上

個人でできること
・省エネ家電の導入
・再生可能エネルギーの活用
・エネルギー効率の向上



期待される再生可能エネルギー化の実現

再生可能エネルギーのメリット
・環境に優しい
・エネルギーコストの削減
・エネルギーの安定供給

私たちの生活に
・太陽光発電
・風力発電
・水力発電
・地熱発電
・バイオマス発電

まとめ
・地球温暖化を止めるには、エネルギーの効率化と再生可能エネルギーの活用が必要。

持続可能な社会へ
・SDGsを達成
・再生可能エネルギー化
・エネルギーを使いすぎない

私の考え
・地球温暖化は、人類の存続に関わる問題。
・再生可能エネルギーの活用を促進する必要がある。